

住所 坂井市春江町江留上大和4-8 TEL・FAX 51-0829
E-mail edomekami-cc@city.fukui-sakai.lg.jp



発行：江留上まちづくり協議会 総務広報部

Instagram 江留上コミュニティカ-

江留上まちづくり 協議会総会

今年は44名が出席し、前年度の事業・収支決算報告ならびに令和6年度の事業計画案(次頁掲載)・収支予算案・役員改選案などが審議され、いずれも承認されました。



ご来賓あいさつ



新会長あいさつ

令和6年度 江留上まちづくり協議会 役員紹介 *敬称略			役 職		氏 名	地 区
			総務広報部長		山田 隆夫	新 町
役 職	氏 名	地 区	はつらつキッズ倶楽部部長		鈴木 英雄	本 町
会 長	増田 敏夫	昭 和	わくわくいきいき 倶楽部	わくわくしあわせ交流活動部長	北川 誠一	緑
副会長	渡邊 眞吾	中 央		高 齢 福 祉 活 動 部 長	嶋 和男	中 央
副会長	五十嵐 長	新 町	まちピカピカ倶楽部部長		南部 成男	旭
副会長	渡邊 祥成	旭	ほっと安心倶楽部部長		中山 晃廣	緑
事務局長	道岸 敏実	昭和	監 事		宮永 信一	大 和
会 計	長谷川 肇	昭和	監 事		北林 直樹	昭 和

新会長あいさつ

この度江留上まちづくり協議会の会長に任命されました、昭和区の増田です。さて、当まちづくり協議会は「笑顔あふれる 安心して住めるまち 江留上」をめざして活動しています。江留上の世帯数人口が増える中、古きものを大事にし、新しいことも取り入れていき、地域住民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。 江留上まち協会長 増田敏夫

よろしく
お願ひします。



キャッチフレーズ

「笑顔 あふれる

安心して住めるまち 江留上」


★全体事業★

- ・江留上誕生1200年記念事業
- ・サマーフェスタ
- ・イルミネーション点灯式
- ・ふれあいもちつき大会
- ・江留上地区敬老会

■総務広報部

- ・広報紙「かみむらだより」発行
(年4回予定)
- ・「春江ちりめんの里保存活用」

■まちピカピカ倶楽部



- ・越前カンタケづくり
- ・お正月寄せ植え 

■ほっと安心倶楽部

- ・防災訓練
- ・防災研修会
- ・防災士免許取得



■はつらつキッズ倶楽部

- ・かみむらラジオ体操会 
- ・親子料理教室 
- ・ふれあいまち歩き



■わくわくいきいき倶楽部

□わくわくしあわせ交流活動

- ・わくわくしあわせ交流会
- ・地区サロン会への協力

□高齢福祉活動

- ・かみむらカフェ(毎週火曜日)
- ・一人暮らし高齢者見守り活動



まち協委員を募集します！

一緒にまちづくりのお手伝いをしませんか。江留上まち協では、地域住民が主体となり、地域防災、福祉活動、環境美化、子ども育成などの活動をしています。興味のある活動に参加して江留上地区を盛り上げよう！！

興味のある方は、江留上まちづくり協議会（江留上コミュニティセンター内）までお問合せ下さい。（電話、メール可）



コミセンの玄関～カフェスペースが変わりました☆
玄関にあった案内板はモニターで表示するようにしました。
また、自動販売機はカフェスペースの奥に持って行き、気軽にカフェで休憩できるようにしました。
カフェスペースはどなたでも利用可能です(占有はできません)
お気軽にコミセンへお越しください。

かみむら カフェ 開催中

毎週火曜日にかみむらカフェを開催し、多くの方で賑わっています。
今年は囲碁、将棋も仲間入り！！昔やっていた方も、ちょっとやってみようと思っている方も大歓迎★ぜひかみむらカフェへお気軽にお越しください♪月に1回はお楽しみイベントがありますよ。



お知らせ

6月、7月のイベント情報（予定）です！
後日チラシを配布しますので、
詳しくはそちらをご覧ください

6月23日（日）チャレラン大会

（春江町子ども会

育成連絡協議会主催）

※小学生以下対象



7月7日（日）サマーフェスタ（予定）

（フェスタ実行委員会主催）



7月19日（金）親子料理教室

（江留上まち協主催）

※親子対象



7月27日（土）かみむらラジオ体操会

（青少年育成坂井市民会議

南部支部主催）



この度、4月からセンター長として務めさせていただきます岡崎と申します。私ども3年前に市役所を退いたのち、今回縁あってこちらでお世話になる事になりました。

コミセンの業務は初めてで不安もありますが、地域の皆様のお役に立てるよう務めさせていただきます。江留上コミセンは市内26コミセンの中でも利用率が3番目に高く、毎日多くの皆様に利用されています。今後も多くの方々に愛されるコミセンにしていきたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

また、江留上地区のまちづくりも担っていますので、まち協を通じ地域の発展のため、皆さんが自慢できる住みよい街になるよう頑張っています。センター長 岡崎青史

この度の人事異動で春江中コミセンから異動してきました清水です。江留上地区をさらに盛り上げ、住民が集い楽しい地域になるよう一緒に活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

センター主事
清水美那子

かみむら物語

コラム4.「継体天皇」

前回と前々回で、磯部川の自然堤防を中心に人が住み始め、稲作を始めたことを説明しました。しかし大規模に稲作を行うには、池沼、湿地が広がる福井平野に大規模な灌漑（かんがい）工事が必要でした。つまり、排水路を作る膨大な土木作業が必要だったのです。古代、治水に功績があった人物として、継体天皇が有名です。

『日本書紀』によれば、継体天皇は、450年頃に近江国高島郷三尾野（現、滋賀県高島市）で誕生しましたが、幼い時に父の彦主人王（ヒコウシノオウ）が亡くなったため、母・振媛は、自分の故郷である越前国高向（たかむく、現丸岡町高棕）に連れ帰り、そこで育て「男大迹王（ヲホドノオウ）」として5世紀末の越前地方を統治するまでになりました。越前国は古より、大陸との交流が活発で、製鉄、稲作、養蚕、製紙、採石、土木などの新技術に触れるのが早く、渡来人を通じ知識を取得していたと思われる。男大迹王も百済に渡り、後に武寧王となる人物と深い人間関係を結んだという話も伝わっていて、武寧王が継体天皇に贈ったとされる人物画像鏡が現存しています。

あわら市の釘ヶ岳（けんがだけ）の頂上より、福井平野を眺めた男大迹王は、現在の三国地方の河口を切り開き、排水を促すことにより広大な池沼を干拓することを思いついたとされています。『水国』が転じて『三国』になったとの説があるのも知っておくとよいでしょう。河口を切り開き九頭竜川・足羽川・日野川の整備を行い、池沼・湿原を実り豊かな土地に変え、人々が定住できるようにしました。続いて港を開き水運を発展させ、稲作、養蚕、採石、製紙、漆器など様々な産業を発達させたといわれています。春江町石塚にある、石塚神社脇にある大きな石（石座）は、九頭竜川の治水を行った時、この岩の上から指揮をとったといわれているものです。近江地方やあわら市細呂木は製鉄遺跡があり、5世紀ごろに製鉄が行われていた可能性があることや、農業や交易が盛んになったことから、越前国は豊かになり男大迹王の権力は増していきました。

日本書紀によると武烈天皇が皇嗣（後継者）を定めずに亡くなったことから、有力豪族の協議により男大迹王は皇位を継ぎ、507年樟葉宮（くすはのみや、大阪府枚方市）で、第26代天皇として即位しました。継体天皇は、百済を支援するために兵を送ったり、磐井の乱（いわいのらん）と呼ばれる反乱を鎮圧したりと強力な天皇であり、大和朝廷は徐々に日本を統治する国家としての形態を整えていきました。531年勾大兄（まがりのおおえ、後の安閑（あんかん）天皇）に譲位し、同日に崩御され、大阪府高槻市郡家新町（ぐんしんまち）にある今城塚古墳に埋葬されたとされています。この古墳は、墳丘長約190mもの巨大な古墳で史跡公園化されています。復元された巨大な埴輪列が並ぶ前方後円墳が公開されていて、博物館も併設しています。高さ170cmもある家形埴輪を含む100点以上の埴輪の列は圧巻です。

右の写真は足羽山公園三段広場にある、笏谷石（しゃくだにいし）製の石像で、開拓した福井平野を見下ろしています。福井にはまだまだ多くの継体天皇の伝説が残っていて、関連する書籍も出版されています。石像近くの足羽神社の開祖が継体天皇であったとか、笏谷の地名も継体天皇に由来するとか……。ぜひ一度読んでみてください。何しろ大昔のことですので、真偽不明な部分も多く、様々な学説もあるのですが、現在の天皇につながる強力な人物が大昔の福井を切り開き、活躍したところにロマンを感じる事が出来るでしょう。

